

「4 META/MMA-TBB レジンを応用した歯根端切除術に対する後ろ向き観察研究」のお知らせ

歯科口腔外科患者の皆様へ

〈研究目的〉

当科では年間約 100 例ほどの歯根端切除術が実施されており、本研究はこの治療法の妥当性、問題点を検討することを目的にします。

〈研究背景〉

虫歯などから根尖病巣（歯根先の膿袋）が生じ、歯肉の腫れや痛みが出た場合、根管治療（根の治療）を行うことで大抵は治癒に向かいます。しかし根管治療を長く継続しても治癒に至らない、あるいは根管が閉鎖・弯曲・金属ポストが除去困難などで根管治療ができない場合に歯根端切除術をすることで抜歯せずに保存できる可能性があります。

歯根端切除術の術式は歯根先の病巣に対して外科的に ①根尖病巣の摘出 ②歯根端の切除 ③逆根管充填（歯根先を閉鎖する）を行います。今般、逆根管充填材として複数の材料が使用されていますが、4 META/MMA-TBB レジンは生体親和性がよく、歯質や金属と接着を有することからより緊密な根管閉鎖を行える材料です。

〈研究方法〉

1. 対象者

1992 年 1 月～2018 年 12 月までに当科で歯根端切除術を実施された患者様。

2. 方法

研究対象者について下記の情報を診療録より取得して過去の診療データのみを利用して解析する疫学研究です。したがって、研究対象となる患者さんに新たに検査や治療を求めるものではなく、新たな身体的負担や不利益を生じる可能性はありません。

患者背景

年齢、性別、歯種、同時手術歯数、適応症例（初回・再発後手術）、予後不良症例。

治療前データ

現症、検査所見（エックス線検査）、根尖病巣の大きさ。

治療中データ

術中所見、根尖切除量、摘出物所見、病理検査所見、細菌検査所見。

治療後データ

検査所見（エックス線検査）、治癒評価。

〈個人情報の取り扱いについて〉

本研究で得られた個人情報は、各種法令に基づいた院内規定を守った上で使用し、外部に漏れることのないように厳重に管理します。

今回ご協力いただいた研究の結果は学術集会や学術論文で公開する予定ですが、名前や個人を識別する情報はこの調査の結果の発表や報告に一切使用いたしません。

また、この調査にご自分の情報を使用されることを拒否することができます。その場合は下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。そのような場合でも、診療上に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。その他、何かご不明な点やご質問等ありましたらいつでもご連絡ください。

〈連絡先〉

病院名：立川病院

病院所在地：〒190-8531 東京都立川市錦町 4-2-22

Tel：042-523-3131（平日9:00～17:00まで）

担当者：歯科口腔外科 木津英樹，白田慎，遠藤友樹